(4) 会計ファイナンスコースの履修系統図

科目区分別の学修目標		1年次 第1セメスター	1年次 第2セメスター	2年次 第3セメスター	2年次 第4セメスター	3年次 第5セメスター	3年次 第6セメスター	4年次 第7セメスター	4年次 第8セメスター	単位数
演習関連	大学演習では、大学生活に必要な知識と技能、専門学術に必要な基礎学力を修得することができる。専門演習では、経営学や中心とする6領域の知識、技術法を体得するとともに、自分に興味・関心、将来の進路志望に合わせて1テーマを設定し、最終的に卒業研究としてまとめていくことができる。	大学演習A →	大学演習B →	コース選択 演習ⅠA →	演習ⅠB →	演習ⅡA 卒業研究開始 →	演習ⅡB →	演習ⅢA（必修） →	演習ⅢB（必修） 卒業論文提出	16～
学科基礎科目	経営学と隣接分野の経済学、関連分野の法学に関する基礎科目の学修を通して、基礎知識の修得と諸問題への関心を高めることができる。	経営学基礎（必修） 経済学基礎（必修）	法学基礎							6
学科共通科目	経営学と経済学に関する基幹科目の学修を通して、専門学修を進めていくうえで必要となる基本的な知識や技能、思考法を修得することができる。	※第1～4セメスターのあいだに履修することが望ましい：20単位以上選択必修 【経営学関連】 1年次から 経営学総論Ⅰ→経営学総論Ⅱ／ビジネス統計学Ⅰ／社会心理学 2年次から ○経営組織／○経営管理論Ⅰ→○経営管理論Ⅱ／○労務管理論Ⅰ→○労務管理論Ⅱ／企業論Ⅰ→企業論Ⅱ／○経営情報概論／簿記論Ⅰ→簿記論Ⅱ／○マーケティング概論／○近代経営史／経営と法 【経済学関連】 1年次から ミクロ経済学Ⅰ→ミクロ経済学Ⅱ／マクロ経済学Ⅰ→マクロ経済学Ⅱ 2年次から 社会経済学Ⅰ→社会経済学Ⅱ ※ミクロとマクロはどちらから先に履修してもよい。 ※簿記論Ⅰ（2単位）、簿記論Ⅱ（2単位）の計4単位は、初級簿記（4単位）の単位をもって代替することができる。 ※○は1年次から履修可。							22～
コース基本科目	自分の興味・関心、将来の進路志望に合わせて選択されたコース学修において必要となる知識や技能、思考法を修得することができる。		※第2～8セメスターのあいだに履修：16単位以上選択必修 【経営学関連】 1年次（2セメ）から ○中級簿記／○工業簿記 2年次から 上級簿記→財務会計／原価計算→管理会計／会計学Ⅰ→会計学Ⅱ／ファイナンシャル・プランニング／証券論／経営実践Ⅰ→経営実践Ⅱ 3年次から ●企業財務論／●経営分析Ⅰ→●経営分析Ⅱ ※太字は体験型学修科目である。 ※○は1年次から、●は2年次から履修可である。						40～
コース関連科目	コース学修の応用展開を図るために必要となる知識や技能、思考法を修得することができる。			専門教育科目から、70単位以上の修得が卒業にとって必要である。ただし		法学部開講の専門教育科目から30単位までこれに含めることができる。 ※第5～8セメスターのあいだに履修 【経営学関連】 会計監査／税務会計Ⅰ→税務会計Ⅱ／銀行論（銀行制度）→銀行論（銀行政策）／●保険論／●信用金庫論／●経営戦略論（企業戦略）／●経営戦略論（事業戦略）／●コーポレートガバナンス論／●中小企業政策論／●中小企業経営論／●流通産業論→●流通システム論／●消費者行動論→市場戦略論／●貿易論（貿易基礎）→●貿易論（貿易実務） 【経済学関連】 ●金融論Ⅰ→●金融論Ⅱ／●財政学（財政と制度）／●財政学（経費と租税）／○経済史Ⅰ→○経済史Ⅱ／○経済数学Ⅰ→○経済数学Ⅱ／●日本経済論Ⅰ→●日本経済論Ⅱ／［ミクロⅠ履修後］●経済政策論→●経済政策論応用 【法学関連】 ○民法総則Ⅰ→○民法総則Ⅱ／●債権総論Ⅰ→●債権総論Ⅱ／●債権各論Ⅰ→●債権各論Ⅱ／●ビジネス法務（企業法通論）／会社法Ⅰ（廃止）→商法Ⅰ（会社法Ⅱ）／税法Ⅰ／税法Ⅱ／金融と法（金融商品取引法） ※○は1年次から、●は2年次から履修可である。 ※〈 〉内は旧科目名称である。				40～
外国語科目	日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力を修得することができる。	外国語（必修） いずれか1種類の外国語4単位必修	外国語（必修）							4～
共通教育科目	幅広い教養及び国際感覚を修得することができる。	情報リテラシーA 文章表現入門 キャリア開発A →	情報リテラシーB キャリア開発B →	キャリアデザイン演習A →	キャリアデザイン演習B →	キャリア演習A →	キャリア演習B →		ビジネスリテラシー	36～
				共通教育科目から、いずれか1種類の外国語		4単位を含む40単位以上の修得が卒業にとって必要である。				
目標修得単位数		18～24	18～24	18～24	18～24	18～24	18～24	8～24	8～24	124～
推奨資格 目標取得時期				学部推奨資格 ▷ リテールマーケティング（販売士）検定3級 ▷ ビジネス会計検定3級	学部推奨資格 ▷ 秘書技能検定2級	▷ ビジネス会計検定2級	学部推奨資格 ▷ リテールマーケティング（販売士）検定2級 ▷ 秘書技能検定準1級			
			※学科生推奨資格 ▷ 日商簿記検定3級		※学科生推奨資格 ▷ 日商簿記検定2級					
		コース生推奨資格 ▷ 日商簿記検定3級	コース生推奨資格 ▷ 日商簿記検定2級	コース生推奨資格 ▷ FP技能検定試験3級		コース生推奨資格 ▷ FP技能検定試験2級 ▷ 日商簿記検定1級	←学科生の目標取得時期より早期の目標を設定している。			
学修目標		1年次の学修目標（学部共通） ▷ 経営・経済学にかんする基礎的知識を修得する。 ▷ 読み書きスキル、ICTスキル、分析しまとめ上げる力、グループワーク力、プレゼンテーション力といった汎用技能を身につけるトレーニングをする。 ▷ 外国語力を伸ばす。 ▷ 興味・関心に応じて、人文、社会、自然等の教養分野の知識を広める。 ▷ キャリアにかんする意識を持つ。 ▷ 自分の興味・関心、将来の進路志望に適したコース、演習を選択するために、コース、演習内容について理解する。 1年次の学修目標（会計ファイナンスコース） ▷ コース学修の土台となる基礎的知識（日商簿記検定2級、ビジネス会計検定3級）を修得する。		2年次の学修目標（学部共通） ▷ 経営・経済学にかんする専門的知識を拡充させる。 ▷ 実践的・能動的な取り組みを通して、汎用的技能のさらなる向上に努める。さらに、課題を見出す力をつける。 ▷ キャリアにかんする意識を高める。 2年次の学修目標（会計ファイナンスコース） ▷ 企業の資金活動に関わる会計報告、資金調達、資金運用等について理解する。 ▷ 企業活動を読み解く能力（ファイナンシャル・プランニング技能士3級、ビジネス会計検定2級）を修得する。		3年次の学修目標（学部共通） ▷ 卒業研究を意識した専攻分野の決定と研究に必要な情報を獲得する。 ▷ 実践的・能動的な取り組みをさらに重ねて、課題解決能力を高める。 ▷ キャリアにかんする意識を具体化し行動する。 ▷ インターンシップに取り組む。 3年次の学修目標（会計ファイナンスコース） ▷ 実務関連科目等の履修を通して、会計とファイナンスの観点から企業経営について理解を深める。 ▷ 経理・財務・税務の高度な実務能力（日商簿記検定1級、ファイナンシャル・プランニング技能士2級）を養う。		4年次の学修目標（学部共通） ▷ 卒業研究を推進させて、卒業論文を完成させる。 ▷ 社会人としての心得を修得する。 ▷ 進路に関連する専門知識を拡充する。 4年次の学修目標（会計ファイナンスコース） ▷ 会計ファイナンスに関する諸問題に取り組むことによって、課題解決能力をさらに伸ばす。	